

	研修コース	対象者	研修目的	目標
経年別	科長・係長研修	科長、係長	中間管理職としての役割が理解でき、目標達成に向かい自己研鑽ができる	1.自己の役割を認識した上で適切な行動がとれる 2.各部署において目標管理ができる 3.自己の課題をデータから分析し問題解決に結びつけることができる
	主任研修	主任	問題解決能力を身に付け、専門職のリーダーとしての自覚を高める	1.問題点の抽出されやすい環境を、自ら作る努力ができる 2.リーダーシップを発揮することで、職場の活性化ができる 3.問題解決方法の見出し方を学ぶことで、同立場の仲間と共有し合う事ができる
	看護管理Ⅱ	主任初任者	自己の役割を明確化し、目標達成に向けチーム医療に貢献できる	1.自己の役割を認識し、具体的行動が理解できる 2.目標達成に対する計画を、適切な時期に評価修正することで、スムーズな実践に繋げることができる 3.リーダーシップを発揮することで、所属部署の活性化に貢献できる
	看護管理Ⅰ	リーダーシップをとっている、また上司の推薦があった者	リーダーとしての自覚が持て、自己の役割が認識できると共に、管理の必要性を理解することができる	1.看護部の組織が理解できる 2.各管理者の必要性が理解できる 3.看護管理の必要性が理解できる 4.自己啓発に努め、各部署でリーダーシップを発揮することができる
	研修コース	対象者	目的	
集合	指導(教育)者研修	卒後4年目以降	1.部署での教育の在り方と自己の役割を認識し、教育計画に参画できる 2.指導方法を学び、教育・指導に対する意識付けができる	
	卒後3年目研修	卒後3年目	1.プリセプターとしての自覚を持ち、個々に応じた教育指導ができる 2.チームナーシングのそれぞれの役割が理解でき、その中で適切なリーダーシップがとれる 3.プライマリーナースとしての役割を学び、質の高い看護が提供できる	
	卒後2年目研修	卒後2年目	1.リーダーシップを理解し、自己の役割を認識できる 2.プリセプターの役割を理解し、教育・指導への意識付けができる 3.自己の看護観を明確にし、それを看護過程に活かすことができる	
	卒後1年目研修	卒後1年目	1.責任のある看護援助を通して、観察力・判断力を身に付けることができる 2.人間関係を円滑にするためのコミュニケーションスキルが習得できる	
	新入オリエンテーション	新卒者	病院の概要を知り、看護職員としての心構えを身に付ける	
対象別	研修コース	対象者	目的	
	外来看護	外来勤務者	1.自己の役割を認識し、目標達成に向けての努力ができる 2.各部署との連携とその必要性が理解できる	
	准看護師研修Ⅰ	准看護師	1.自己の役割を認識し、チーム内で十分な力を発揮できる 2.振り返りをし、自己評価することでそれに合った目標を持つことができる	
	准看護師研修Ⅱ	准看護師	1.看護体験を通して看護観を見出すことにより、目標達成に向け努力できる 2.チームナーシングを理解し、それぞれの役割が認識できる	
	看護補助者教育	介護福祉士 看護補助者	1.組織人・医療人としての接遇が身に付けられる 2.自己の役割を認識し、自主性を発揮することができる 3.安全に対する意識を高めることができる	
	クラーク教育	クラーク	1.患者を理解しようとし、快い接遇ができる 2.クラークとしての自覚を持ち、役割がはたせる	
全体	研修コース	対象者	目的	
	看護研究	研究に取り組んでいる者	1.計画に沿った研究の取り組みができる 2.看護に対する意識を高め、自己啓発ができる	
	リスクマネジメント	看護職員	1.医療事故、感染に対する意識を高める 2.自ら予防策が講じられる知識を身に付ける	
	トピックス勉強会	看護職員	管理者としての必要な知識・技術を学ぶことができる	